

## 令和4年度 第3回 社会福祉施設・法人選考専門分科会議事要旨

- ・日時：令和4年12月12日（月）14:00～15:50
- ・場所：福祉局船場分室研修室
- ・出席者 会場出席 平田委員、石田委員  
リモート出席 大崎委員、大仲委員、岡田委員、前川委員、三田委員、吉村委員

### 1 議事について

#### 【議案1】社会福祉法人の吸収合併について

吸収合併存続法人名：社会福祉法人 帝塚山福祉会

吸収合併消滅法人名：社会福祉法人 葛城会

存続法人所在地：大阪市住吉区帝塚山東二丁目

#### ・質疑

〈委員からの主な質問等・法人からの回答〉

- 1 合併による葛城会のメリットについてはよくわかった。帝塚山福祉会については、前々理事長については、昨年様々なことがあって、双方のメリットや職員の納得など特に十分な説明が必要であり、他の法人以上に帝塚山福祉会として求められる時代である。新理事長としての決意・考え方を示してもらいたい。

→昨年のことは、前々理事長が個人で行ったことであり、法人には一切関係はない。しかしながら、前々理事長が行ったことで、法人に関わる方には、大変なご迷惑とご心配をおかけした。前々理事長は帝塚山福祉会だけでなくグループの全ての役員を退任している。今後このようなことが起きないようにすることは当然として、理事長として、評議員、理事、監事、職員の声にも耳を傾けつつ、さらに適正な法人運営に努めるとともに、利用者の方によりよいケアを提供できるように引き続き努力してまいる所存である。

〈意見交換〉

- ・資金面で無理がないと判断してよいか。
- ・この法人は積立金として資金を用意しているわけではないが、12億円を超える額が用意されているので問題はない。ただし、50億円以上の収支規模になると10億円程度を運転資金として用意しておく必要があるため、福祉医療機構や民間の銀行からの借入が必要になると思われる。
- ・近年、堺市南部から和泉市泉大津市にかけて病院の増設ラッシュになっている。それに伴い福祉施設も多く建ってきている。和泉市については、認知症対応型の

グループホームであるとか混合型の老健あるいはサ高住などが百数十床で建っていくことになり、今後この地域は激戦区になる可能性がある。しかしながら、現在 50 床規模で特養をされているので、利用者がなくなることはないと思うが、職員確保の点で厳しい状況になるかもしれない。しかしこれをもって経営状況に支障があるとは思っていない。

- ・和泉市との関係については、何か議論をされたのか。
- ・(法人監理担当課長) 和泉市には、吸収合併の提案があることは情報提供している。和泉市の意見では、この特養は地域にとって必要な施設であるが、老朽化しており耐震基準を満たしていないと認識しており、建替えの話もあったが法人が資金を借りることが難しいので、立ち消えになっているとのことである。今回の合併については、和泉市としても何らかの手だてがなければ、特養がなくなってしまうので、合併はやむを得ないことと考えているようだ。

#### ・結果 適格

##### 【議案 2】既設法人による地域小規模児童養護施設の増築

法人名：社会福祉法人 田島童園

施設名：(仮称) 田島童園 新館

所在地：大阪市生野区林寺 5 丁目

#### ・質疑

- 1 職員の育成にも関連することだが、現在、保育施設で虐待事案が発生してクローズアップされているところであるが、田島童園における虐待の防止策としてどのようなことがされているのか。

→新聞やニュースで虐待のことが取り上げられていることから、直近の職員会議で記事を周知し、虐待を防止する適切対応についてお知らせしている。新任の職員については、ベースから理解してもらう必要があるので 1 年間を通して新任職員研修で続けていく。また、こどもたちが職員の感情を逆なでするようなこともあるので、自分の怒りの感情をコントロールすることを身につけてもらうようにしている。ホーム・ユニットごとに管理職を置くなど体制を作り、上司や先輩から指導してもらう。夜勤明けの職員が、引継ぎの時間に管理職や専門職を交えて支援・助言を受けることにより、虐待防止の意識を高めてもらうようにしている。

- 2 事前質問の中で、管理体制について全館を統括する施設長代理を設置するとあるが、施設長代理とは本日ご出席されている前田理事のことか。また、主任等をホームに配置すると説明があったが、ホームというのはどういう単位か。

→施設長代理は、私（前田理事）のことである。施設長の補佐として施設全体を統括している立場である。「ホーム」と「ユニット」の言葉を併用したことで混乱が生じたことをお詫びする。6人又は8人の生活単位をホームと呼び、1つの建物に2つのホームが抱き合わせにあるが、これをユニットと呼んでいる。このユニットに1人の管理職が配置される。この管理職・主任からホームのリーダーが助言を受けながらホームの運営を行っている。

3 主任は何人いることになるのか。

→令和4年に関しては、3名いる。

〈意見交換〉

- ・施設整備のための積立金が4,500万円あり、その範囲の事業計画となっているので、十分やっつけていけると思う。
- ・事前質問でショートステイの実績を尋ねられているが、この実績をどのように評価すべきものなのか。この程度の規模の事業者であればこれが多いのか普通なのか少ないのか。
- ・この規模でこのくらいが適正か判断尺度を持ち合わせていない。ショートステイ事業で実績が書かれていたのでどの程度実績があるのか確かめたかったということである。3年間通じて実績があったということは確認した。

・結果 適格